



商品を手にとって品定めをする来場者

お目当ての商品をゲット

大和小学校 PTA バザー

8月から9月にかけて、市内の小中学校で学校の清掃とPTAバザーが行われます。8月19日の大和小学校のPTAバザーでは、地域から集まったタオルや洗剤、皿などの生活用品約600点を販売。会場の同校体育館では、来場者たちが商品を手にとって真剣に品定めをする姿が見られました。白谷由美子さん（明野）は「孫たちが使うバスタオルやシーツが安く買えるので、毎年足を運んでいます」とうれしそうに話しました。

選手たちのプレーに会場も熱気

第16回オクイ旗近県バスケットボール親善大会

8月18日から26日にかけてオクイ旗近県バスケットボール親善大会が、市内外の各会場でありました。大会は、小学校の部、中学生の部、高校の部に分かれて行われ、県内外から合わせて68チームが参加。各会場には、選手たちがコート駆け回る「キュッキュッ」という音と保護者やチームメイトからの熱い声援が響いていました。小学生の部では、市内から出場した中島男子が優勝、豊原女子が準優勝に輝きました。



相手のゴールに攻め込む選手



琴奨菊関（左）が見守る中、児童が除幕して壁画を披露

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

偉大な先輩にエール送る

琴奨菊関応援壁画除幕式

東宮永小学校おやじの会と父母教師会は、同校体育館の外壁に琴奨菊関応援壁画を設置しました。壁画は縦約5m、横約4mの大きさ。8月18日の除幕式には、地域から約200人が集まり、児童が除幕して壁画を披露しました。同校おやじの会代表の山田恭史さんは「子どもたちに努力、精進、克己心などの大切さや、同校の卒業生に偉大な先輩がいることを10年、20年先まで伝えていきたい」と話しました。出席した琴奨菊関は「もう一つ上を目指して頑張ります」と誓いました。

本番に向けて猛練習

柳河小学校児童「子どもどろつくどん」を練習

柳河小学校の3年生以上の児童54人は、10月に開催される三柱神社秋季大祭「おにぎえ」で披露する子どもどろつくどんの練習に励んでいます。約10年前に同校の総合学習の授業で、地元の伝統文化を学ぶために始めたのがきっかけ。毎年6月から練習を始め、児童の保護者や地域の人たちが、太太鼓や横笛などの5つの楽器と奉納の舞を教えています。般若面での舞を担当する6年の若菜智也くんは「舞はとても楽しいです。本番は成功できるよう頑張ります」と意気込みを語りました。



本番に向けて児童の練習にも熱が入る

全身泥まみれに児童も歓声

柳川「有明海」なんでん体験隊

市は、8月16日と17日の2日間、柳川「有明海」なんでん体験隊を行いました。小学生に、海の満ち引きや魚介類など、有明海のことについて学んでもらおうと毎年実施しています。今年は、市内外から29人が参加。1日目は、むつごろうランドで有明海について学んだ後、潮が引いた干潟でどろんこ体験を楽しみました。児童は「泥でなかなか前に進まず大変だったけど、楽しかったです」と話しました。2日目は、のり工場の見学やかまぼこ作りも体験し、楽しい2日間となりました。



泥んこになりながら干潟遊びを楽しむ児童

産声に妻から親の顔になり

水も人も
キラリ

川柳

今月の入選作品・課題「顔」

甲木幸栄（蟹町）

産声で始まる母と子のこれから。十指の一本いっぽんが赤子のものであり母のものである。守らなければならぬもう一つの命。それはこれまでの妻の顔では見せなかった「親」という顔である。当然、夫も「父親」という厳しい顔を準備しておかねばならぬ。

流青

空見れば夫の顔の入道雲
赤ちゃんを囲むと皆んな笑顔出る
昨日今日そして明日はどんな顔
洗面所鏡の顔へあいうえお
ふっくらと炊けたご飯につい笑顔
顔色に心の奥が書いてある
寝ぼけ顔ラジオ体操急ぎ足
旅三日そろそろ裏の顔が出る
向日葵や母の笑顔が懐かしい
面影を白露のつつみ萩のゆれ
メダリスト笑顔の奥にドラマ見た
戦争を語り継ぐ顔深いしわ
年重ね生き方わかる顔がある
小さい頃イナイイナイパーをした顔
クラス会老いて面影残る顔
顔の裏静かに潜む善と悪
寝顔見て今日の怒りはどこへやら
職ありて希望にみちた笑顔かな
野の花に毎日ほほえむ君の顔
おはようのその一言で笑顔満開

目野喜代子（木元）
佐藤良子（蒲生）
野片義博（隅町）
浦哲之（米）
吉開綾子（筑紫町）
梅崎省二（佃町）
鐘ヶ江真奈美（藤吉）
古賀幸子（横山町）
森フチエ（弥四郎町）
石川百合子（材木町）
野口美恵子（上宮永町）
古賀麗子（吉原）
大橋ミヨ子（六合）
砥上征夫（鷹ノ尾）
西山幸子（垂見）
堤雪子（白鳥）
大橋弘茂（百町）
徳永智有（徳益）
荒牧侑夏（中島小6年）
萩野隆佐（垂見小4年）

川柳を募集しています。選句者は梅崎流青さん。10月の課題は「聞く」です。入選作品は10月1日号に掲載します。

●応募方法 川柳と明記し、自作、未発表の作品（※1人3句以内）に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報広聴係（☎77・8425、FAX74・5520）へ、9月15日（※必着）までにお送りください。

総身の関節ゆるめ演歌聞く

流青